

大使館からのお知らせ

【生活情報】水不足に伴う首都圏における断水の可能性に関する情報をお届けいたします。

コスタリカ上下水道公社(AyA)のHPにて、今後水不足が深刻化した場合の一部地域における断水プラン（実施日は未定）が発表されております。特に影響を受ける地域などの詳細は、コスタリカ上下水道公社(AyA)のHP(<https://www.aya.go.cr/Contenidos/Noticias/frwNoticias.aspx?n=276>)をご参照ください。

また、本件に関する今後の発表や関連報道にご留意ください。

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「銃を持ってバスに乗り込み、乗客を殺害」

12月11日午前5時50分、リモン県ポコシ市カリアリにおいて、乗客40人以上を乗せた路線バスに男2人がバス停から乗り込み、最後部席に座っていた24歳男性に向かって発砲し、殺害した。事件後、現場付近の民家に隠れていた男3人が容疑者として警察に逮捕された。

公安警察によると、容疑者の男は被害者の男性から強盗被害に遭った過去があり、その報復の犯行とみられる。また、被害者には麻薬関係の前科があった。

この事件では、バス車内で銃弾が座席を貫通し、乗客の女性が背中を負傷した。さらに、事件に驚いた乗客の女性が走行中のバスから飛び降りて負傷した。

「ゲーム機の賞金をめぐり、女性客が店主を殺害」

12月11日正午前、リモン市内にある中華料理店において、45歳の女性客が、店内にあるゲーム機の賞金1万コロンを47歳の店主に請求したが、店主が賞金を渡すことを拒否したため、女性客は所持していた銃で店主を射殺した。犯人は自転車で逃走し、まだ逮捕されていない。

「カルタゴで銃撃戦、男性1名死亡」

12月11日午後7時、カルタゴ県ラウニオン市の公道において、「バイクに乗った男2人と乗用車の助手席に乗った男が銃撃戦をしている。」と警察に通報が入った。警察は間もなく、乗用車がサンホセ市サポテのロータリーに駐車しているところを発見したが、助手席の男性は銃弾を受けて死亡していた。被害者には麻薬所持、強盗、窃盗などの前科があった。

「銃弾3発を受けた死体を隣人が発見」

12月13日午前5時、サンホセ県デサンパルドス市トレモリーノスの公道において、29歳の男性

が死体で発見された。死体には3発の銃痕があった。被害者には強盗の前科があった。

「銃撃戦で1名死亡、1名負傷」

12月12日夜、グアナカステ県ラクルス市において銃撃戦が起き、31歳のニカラグア人男性が死亡、身元不明の1名が負傷した。警察によると、被害者2人はキャンプをしていたところ、武装した男数人に襲われ、銃撃戦になった模様。

「麻薬組織のリーダー、銃で10発撃たれ死亡」

12月13日午後10時10分、プンタレナス県コレドーレス市シウダネイリーにおいて、45歳の男性が走行中の車を交差点で一時停止したところ、バイクに乗った男2人が現れ男性に向けて発砲した。男性は銃弾10発を受けて死亡。助手席に乗車していた43歳の女性も銃弾を受けて負傷した。後部座席に乗車していた9歳の息子と大人1名は無事であった。

被害者はメキシコの麻薬密輸組織に麻薬を供給していた国内麻薬組織のリーダーで、過去に2度警察に逮捕され、刑期も受けていたが、癌末期患者ということで仮釈放されていた。

「メッセンジャーから3500万コロン強奪」

12月15日午前11時、カルタゴ県エルグアルコ市において、銀行に車を駐車していたメッセンジャーの男性が、3人組の強盗に銃で脅され、所持していた現金3500万コロンを奪われた。両者の間で銃撃戦となり、犯人グループの1人が銃弾を受けて負傷したが逃走した。

「リクリエーションセンターのオーナー、強盗に抵抗し銃で撃たれ重体」

12月14日午後10時40分、プンタレナス県エスパルサ市において、パラグライダー施設とレストランを経営する40歳のスイス人男性がコスタリカ人の妻、従業員女性2人と徒歩で隣接する自宅に戻ったところ、覆面をして銃を持った男4人に襲われた。スイス人男性は売上金を持っていたが、渡すことを拒否したため、銃で撃たれて重体。女性3人に怪我はなかった。

「農場の警備員、強盗犯を殺害」

12月15日未明、リモン県ポコシ市の農場において、通勤途中の農場の警備員が4人組の強盗に襲われ、銃で脅された。しかし、警備員は強盗犯の銃を奪い発砲。銃弾が犯人2人に当たり、1人はその場で死亡、もう1人は負傷したがそのまま逃走した。死亡した男には前科があった。

「バス運転手、強盗犯を轢き殺す」

12月15日午後8時40分、リモン県ポコシ市において、路線バスの運転手が強盗目的で路上から石を投げつけてきた武装及び覆面の男2人に出くわしたが、運転手は身の危険を感じたためアクセルを踏み込み、2人を轢いた。犯人グループの1人は死亡し、残る1人は逃走した。

「34歳の男性、銃で撃たれ死亡」

12月16日午後3時18分、プンタレナス県アギーレ市ケポスにおいて、34歳の男性が自宅付近

で何者かに銃撃され、間もなく死亡した。遺族によると、被害者はとうもろこし盗難容疑をかけられ、隣人ともめていたという。

「バス内の監視カメラで強盗犯特定」

12月16日、サンホセ市内でバス強盗を繰り返していた30歳男が逮捕された。この男はサンホセ市内の路線バスに乗り込み、銃で脅して強盗を繰り返していたが、バス内に設置されていた監視カメラで特定され、警察に逮捕された。

「24歳の女性、強盗犯に銃で撃たれ死亡」

12月17日午後4時、サンホセ県クリダバ市グアジャボスにある薬局に、ヘルメットを被った男2人が押し入り、現金を奪おうとカウンターの中に入った。しかし、レジが閉まっており現金を盗むことができなかったため、犯人の1人が管理責任者である24歳の女性を至近距離から銃で撃った。被害者は間もなく病院で亡くなった。犯人2人は店の外で待機していた共犯者1人とともに、バイク2台で逃走した。

「墓地で退職者の男性殺害」

12月18日午前6時、グアナカステ県サンタクルス市の墓地において、68歳の男性の死体が発見された。被害者は墓地内で何者かに殴殺された後、井戸に投げ込まれた。

「麻薬取引でコロンビア人男性殺害」

12月19日午後2時55分、サンホセ県モラビア市ロスシティオスにおいて、車を運転していたコロンビア人男性が4人組の男に追いかけられ、コントロールを失って民家の壁に衝突した。犯人はコロンビア人男性を銃撃して殺害し、被害者の車内から現金と見られる包みを盗んで逃走した。

司法警察は20日、容疑者3人（22歳女、19歳男、未成年1名）を逮捕した。逮捕された成人2人には前科があった。

司法警察によると、殺されたコロンビア人はコスタリカ人男性とともに、19日にエレディア県サントドミンゴ市のある民家で、逮捕された3人と麻薬の取引に当たった。しかし取引はまとまらず、コロンビア人は逃走したがコスタリカ人は拘禁された。

逃走したコロンビア人は追跡され銃殺された。拘禁されていたコスタリカ人は自力で同日午後8時半に逃げ出し、警察に通報した。

3人が逮捕された際に、5人が逃走したとみられる。

「34歳の男性、車の同乗者に銃で撃たれ死亡」

12月19日午後6時35分、サンホセ県サンホセ市サンセバスティアンにおいて、34歳の男性が車を運転中に銃で撃たれた。容疑者は被害者の車に同乗していた複数の男で、銃で撃った後被害者を車から降ろし、ガソリンのようなものを被害者にかけて火をつけた。犯行動機は何かの復讐とみられる。被害者はデサンパラドス市在住であったが、デサンパラドス市で多発している一連の殺人事件との関係はないと警察はみている。

「サッカーをめぐる喧嘩でサポーター死亡」

1 2 月 2 0 日午後 1 0 時半、サンホセ県ゴイコエチエ市グアダルーペにあるバーの外で、サッカーの試合終了後、その結果をめぐる 3 0 歳のニカラグア人男性が 2 1 歳と 2 9 歳の男性と口論になり、刃物で刺されて殺された。犯人 2 人は逮捕された。

「モラビアで 2 6 歳の男性、銃殺」

1 2 月 2 1 日午前 1 時、サンホセ県モラビア市ロスシティオスの路上で、2 6 歳の男性が親戚と 2 人で歩いていたところ、男 2 人が近づいてきて銃で撃たれて死亡した。犯人は逃走したが、2 4 日に逮捕された。容疑者は 2 0 ～ 2 4 歳の男 4 人で、うち 3 人には前科があった。

警察によると、容疑者 4 人はモラビア市ロスシティオスにおいて麻薬密売を牛耳っており、麻薬購入者には自分たちのグループからのみ麻薬を買うよう、また隣人には警察に通報しないよう脅迫していたという。2 1 日に発生した殺人事件においても、被害者の男性とは以前から麻薬密売に関して揉めており、路上で出くわした際に口論となり銃撃し殺害した。

「子ども 2 名が銃弾で負傷」

1 2 月 2 1 日午後 6 時、サンホセ県サンホセ市パバスにある民家に、バイクに乗った男 2 人が発砲したところ、中にいた 5 歳と 9 歳の男児に銃弾が当たり負傷した。2 人は病院に運ばれた。

「司法警察、発見された死体が行方不明の少女のものが鑑定中」

1 2 月 2 1 日、サンホセ県アラフエラ市グアダルーペの民家の庭から、ビニール袋に入った女性の死体が発見された。死体は今月 1 4 日から行方不明になっている 1 4 歳の少女のものとみられ、警察は身元の判明を急いでいる。

事件現場の民家には 1 8 歳の男性が住んでいたが、1 8 日に引っ越すと言って出て行った。その後、異臭がするため、家主が庭を調べたところ、大きな穴を掘った形跡があり、驚いて警察に通報した。死体は庭の穴の中ではなく、近くの草やぶの中に、ビニール袋に入れられ放置されていた。死体は腐敗が進んでいるが、弾痕や刃物による傷痕は見られなかった。

「タラマンカで観光客を狙った強盗犯、警察に銃で撃たれ死亡」

1 2 月 2 1 日夜、リモン県タラマンカ市マンサニージョにおいて、自転車で移動していたコスタリカ人観光客 5 人が、刃物を持った覆面の男 2 人に襲われ、携帯電話や財布などの所持品を奪われた。しかし、警察が犯人の逃走路を推察して待ち伏せし、逮捕しようとしたところ銃撃戦となった。犯人 1 人は警官が発砲した銃弾を受けて死亡、もう 1 人も負傷したようだが逃走した。死亡した強盗犯は同市シクサオラ在住の 1 6 歳の少年であった。この強盗犯 2 人は、同市で発生した 2 5 件以上の強盗事件の容疑者でもあった。

「ラクルス市の麻薬密輸組織リーダー殺害」

1 2 月 2 2 日午後 4 時、グアナカステ県ラクルス市の路上において、4 6 歳の男性が車で走行中に、

何者かに銃撃されて死亡した。犯人が発砲後逃走に使用した乗用車は、間もなく近くで炎上しているところを発見された。被害者の車に同乗していた男性は無傷だった。

被害者は、麻薬密輸組織のリーダーかつ不法移民誘拐容疑で2011年にニカラグアで逮捕されていた。コスタリカ国内でも、2014年7月に武器の不法所持で逮捕され、さらに11月には銃撃戦で銃弾を受け入院していた。

「待ち伏せしてバイクに乗った男性を銃殺」

12月23日午後8時15分、サンホセ県モンテスデオカ市サバニージャにおいて、20代前半の男性がバイクで走行中、待ち伏せしていた男2人に銃殺された。被害者は2ヶ月前に殺害脅迫を受けていると警察に被害届を出していた。犯人は逃走した。

「銃撃された15歳少年、病院で死亡」

12月24日午後、サンホセ県ゴイコエチュア市プルルにおいて、若者3人が話をしていたところ、別の若者グループが通りがかり口論となった。若者グループは一旦その場から立ち去ったものの、間もなく2人がバイクに乗って戻ってきて、3人に対し発砲した。3人のうち15歳の少年に銃弾が当たり、病院に運ばれたが間もなく死亡した。

「クリスマスに5人死亡」

12月24日午後4時、グアナカステ県ニコヤ市において、60歳の男性が45歳の妻を銃撃して殺害し、その後刃物により自殺した。

また、同日午後10時半、サンホセ市バリオクーバにおいて、17歳の男性が銃で撃たれて死亡したが、詳細は不明。

25日午前2時には、サンホセ市サグラダファミリアにおいて、19歳の男性が自宅の外で3人の男性と口論になり、うち1人に銃殺された。容疑者である17歳の男性が逮捕された。

25日午前1時には、リモン県タラマンカ市で22歳の男性が従兄と酒を飲み始めたが後に口論となり、従兄に刃物で刺されて死亡した。容疑者は逮捕された。

さらに26日未明には、リモン市で50歳の男性が銃で撃たれて死亡した。被害者は強盗目的で殺害されたものとみられている。

「前科のある女性がラタブラで殺害」

12月26日午後7時、サンホセ県デサンパルドス市ラタブラにおいて、銃撃戦により路上にいた42歳の女性が銃弾を数発受けて間もなく死亡した。被害者には麻薬密輸の前科があった。

「タクシー運転手の死体、人気のない道路上の車内で発見」

12月27日夜、リモン県シキーレス市の国道32号線上において、55歳のタクシー運転手が車内から銃殺死体で発見された。車内には現金や他の所持品が残されていた。

「サンホセ市内スーパーマーケットの強盗犯4人、ティバス市内で逮捕」

1 2 月 2 7 日午後 6 時、サンホセ県サンホセ市サンセバスティアンにあるスーパーマーケット「パリ」を 4 人組の強盗犯が襲い、銃で脅してレジ 2 台から現金を奪って逃走した。警察は数時間後にティバス市内で犯人が乗った車を発見し、4 人を逮捕した。

「1 7 歳の男性、銃で撃たれ死亡」

1 2 月 2 9 日午後 9 時頃、サンホセ県サンホセ市パバスにある公共のバスケットコートにおいて、1 7 歳の男性が数人の友人と話をしていたところ、通りかかった 2 人の男に突然発砲された。男性は銃弾を受け、間もなく死亡した。友人は無事だった。

「発砲中に銃撃され死亡」

1 2 月 3 0 日午後 8 時、プンタレナス県コレドーレス市において、1 9 歳の男性が別の男性とバイクである民家に乗りつけ、発砲し始めた。家の中にいた者が発砲し返したところ、銃弾が男性に当たり、間もなく死亡した。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506) 2232-1255 FAX: (506) 2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田) まで